

Product Information Tiles セラミックタイルの施工方法

床への施工方法

床施工について

タイル床面は日射や気温変化、降雨による湿潤膨張によって伸縮、コンクリート下地の硬化や乾燥によって収縮します。伸縮目地が適切に設置されていない場合、タイルの変形や剥離の原因になります。伸縮目地の設置間隔が広すぎると、下地の収縮に対してタイル面が追従できず、剥離やせり上がり、下地のヒビ割れに伴うタイル面のヒビ割れや亀裂などが発生します。これを防止するために、伸縮目地を必ず設置してください。設置間隔は、縦横ともに4Mピッチ以内を目安としてください。また、張付けモルタルの付け代が大きい場合や下地の養生期間が短い場合においても、モルタルの収縮によるタイルの変形や剥離が発生する場合があります。

コンクリート下地への施工

- ① 設計手順を守り、収縮によるヒビ割れ・亀裂発生の防止処置をする。
- ② 現場打ちのコンクリートに施工する場合は、所定の養生期間（最低2週間以上）を必ず設ける。
- ③ 必ず施工前に、表面のレイタンスをサンダーやスクリイパー、高圧洗浄機などを用いて取り除く。
- ④ 伸縮目地（収縮目地・膨張目地）を3Mピッチ程度で設置し、伸縮目地で囲まれた面積は10m²以内とする。

床タイル張りにおける伸縮調整目地

- ① 伸縮調整目地の設置間隔・囲まれた面積はコンクリート下地の伸縮目地に必ず合わせる。
また、下地の伸縮目地にまたがってのタイル張りを行わない。
- ② 伸縮調整目地幅を10mm以上とする。
- ③ 下地の張付けモルタルの伸縮調整目地部分には発泡剤を充填する。
- ④ タイル部分の伸縮調整目地には变成シリコーン系、ポリサルファイド系を使用する。

※下地精度は±2mm/2M以内としてください。

セラミックタイルサイズ別 床への施工方法

	下地	厚み	セラミックタイルサイズ (mm)	
			600×600	600×1200
外装床	モルタル	9mm	圧着張り工法	—
			改良圧着張り工法	改良圧着張り工法
		20mm	バサモル工法	バサモル工法
			圧着張り工法	圧着張り工法
	コンクリート	20mm	フットサポートシステム	—
	モルタル	9mm	圧着張り工法	—
			改良圧着張り工法	改良圧着張り工法
		20mm	バサモル工法	バサモル工法
			圧着張り工法	圧着張り工法
内装床	合板	—	全面接着剤張り工法 (弾性接着剤張り)	全面接着剤張り工法 (弾性接着剤張り)

施工チャート(コンクリート・モルタル下地)

製品確認

1. 製品(品番・数量)の間違いが無いか注文書と照合する。
2. 開封して製品の色合い、寸法、割れ・欠けの有無を確認。

下地確認 (乾燥率95%以上)

1. 大きな不陸がある場合には下地処理をする。
2. プライマーで吸水調整をする。

墨出し・段取り

1. 現場建具に合わせて墨打ちをする。
2. 製品ごとの推奨目地幅を参考にし、仮のタイル割付けをする。
3. 寸法はロットにより異なるため、納材製品の寸法に合わせて目地幅を再設定して、タイル割付けを完了させる。

製品の張付け

1. 下地面にクリートコテで接着剤(モルタル)を均一に塗り付ける。
2. 改良圧着張りの場合、クリートコテで製品の裏面にしっかりと接着剤(モルタル)が回り込むように塗布する。
3. サイズを考慮して、製品をもみ込むように張付ける。
※製品ダレが起こる場合は、スペーサーなどを活用する。
4. 製品の表面に付着した接着剤(モルタル)は、都度拭き取るようにする。
5. 接着剤(モルタル)が乾燥しているか確認する。※養生は、完全乾燥後に行う。
6. 目地入れは、目地詰めコテなどを利用して行う。

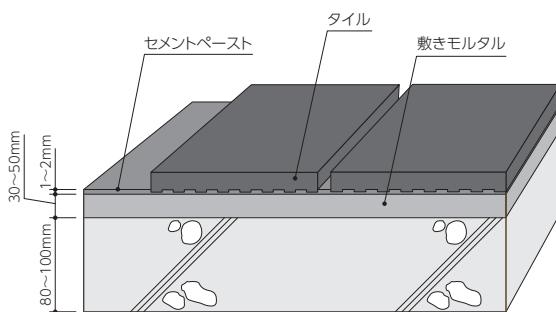
検査

1. きちんと付着しているか、割れや欠けが無いかを目視により確認する。

床への施工方法

1 バサモル工法 (20mm厚以上)

- コンクリート面に敷きモルタルを均一に敷き、その上にタイルを仮置きします。
- ゴムハンマーなどでたたいてレベルなどの位置調整をします。
- その後、タイルを一旦取り除き、敷きモルタルにセメントペーストを流してからタイルを置き直します。
- すぐにゴムハンマーなどでたたき押さえて張付けます。セメントペーストは、1枚張るごとに流してください。

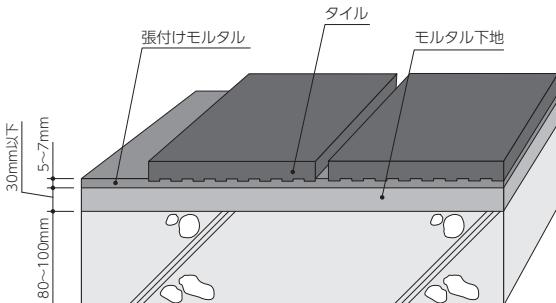


2 圧着張り工法

- 下地に張付けモルタルを塗り付けます。
- 300mm角以上の大判セラミックタイルは、クシ目高さが10mm以上のクシ目コテを使用して張付けモルタルを塗り付けてタイル張りをします。
- 張付けモルタルが柔らかいうちにたたき押さえ、モルタルが裏面に広がるようにします。また、専用の振動工具で押さえる方法もあります。

張付けモルタル

床タイル張付け用ポリマーセメントモルタル

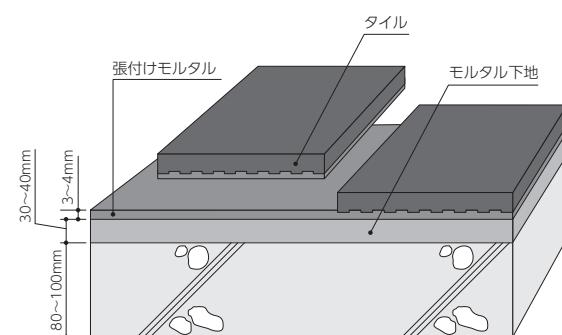


3 改良圧着張り工法

- 200mm角以上の床タイルの施工に適した工法です。
- 下地に張付けモルタルを塗り付けます。
 - 固まらないうちにタイルの裏面全体にも張付けモルタルを塗り付けてタイルを張付けます。

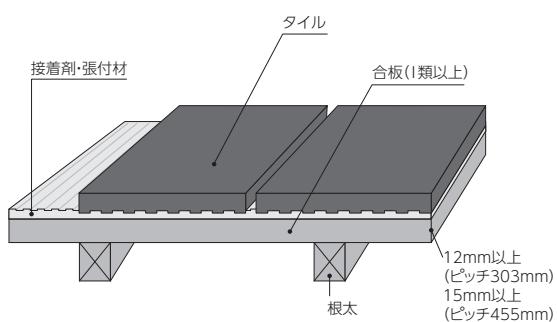
張付けモルタル

床タイル張付け用ポリマーセメントモルタル



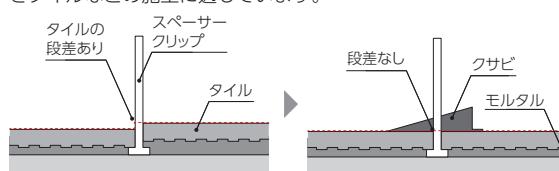
4 全面接着剤張り工法 (弹性接着剤張り)

屋内床へのタイル施工に適した工法です。床タイルのサイズ、下地の種類によって異なりますが、下地全体に接着剤を塗り付けてタイルを張付ける方法です。
床は踏手にしなるので、しなりを吸収してくれる弹性接着剤を使用します。
※接着剤を部分的に塗り付ける工法は、タイル裏面に空隙が生じて割れの原因になることがあるため、床への施工には適していません。



5 クリップ工法

タイル張り専用のスペーサークリップとクサビを使用する施工方法です。施工時のタイル段差や目違いを軽減し、施工時間の短縮にもつながります。特に大判セラミックタイル・薄型大判セラミックタイル・磨きタイルなどの施工に適しています。



6 住宅用床暖房の施工方法

全面接着剤張り工法

タイルは蓄熱性や熱伝導率が高く、暖かさが長時間持続するため、遠赤外線効果により体を芯から温めます。
また、柔軟で温もりを感じさせるデザイン空間を演出できるのも、タイルならではです。

●適用範囲

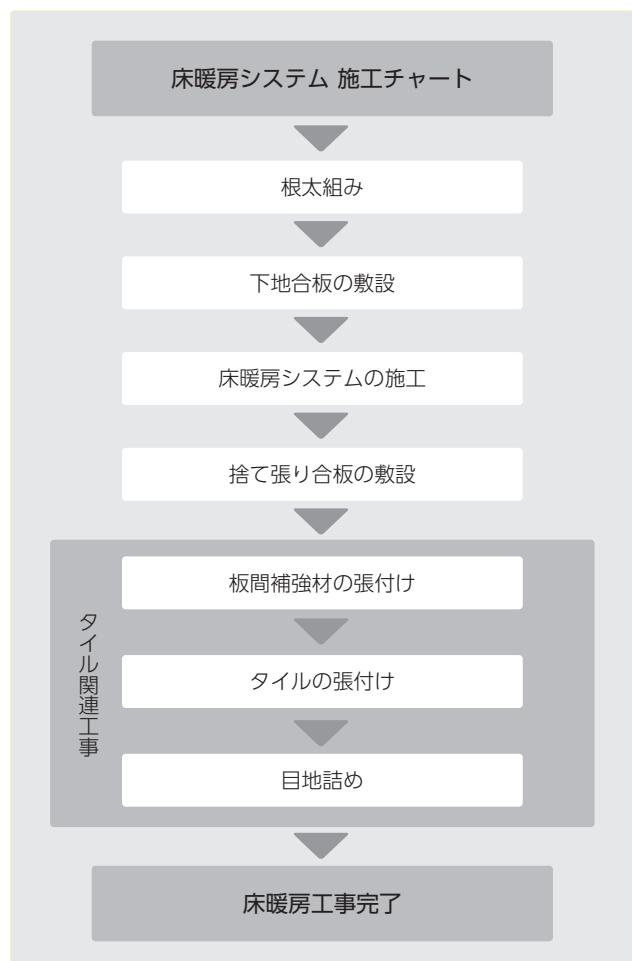
ここでは、一般住宅におけるタイルと温水式床暖房、また、電気式床暖房を組み合わせた屋内床の施工例を記載します。
※水がかりのある屋内床（浴室床など）への施工は適用外です。

●特長

セメント系の張付け材と目地モルタルを使用する湿式工法ではなく、タイルを下地合板に変成シリコーン樹脂系接着剤を用いて張付け、目地部には樹脂系の弹性目地材を目地詰めする乾式工法です。変成シリコーン樹脂系接着剤と弹性目地材を併せて使用することで、リビングの床などで使用される合板下地のたわみによる、タイルや目地材の割れを低減させることができます。

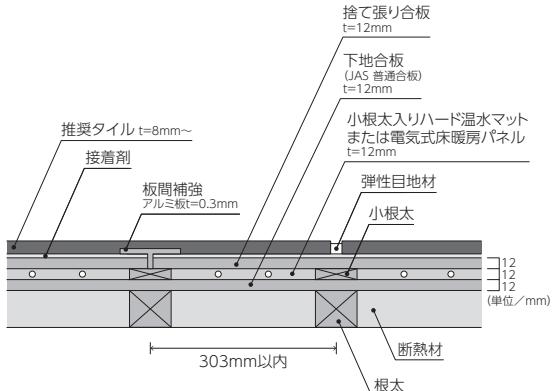
※弹性目地材以外を使用した場合、タイルが反る場合がありますので、ご注意ください。

床暖房システム施工の全工程内で、「タイル関連工事」は、「板間補強材の張付け」「タイルの張付け」「目地詰め」の3工程です。



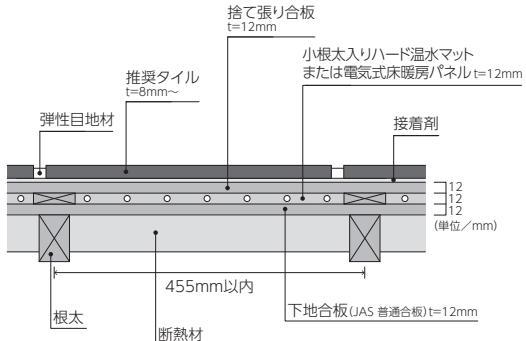
●構成図

①根太組床構造



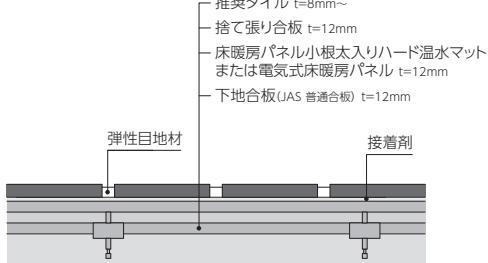
※タイルの厚さが10~12mmの場合は9mmの捨て張り合板を使用

②枠組壁工法床構造



※タイルの厚さが10~12mmの場合は9mmの捨て張り合板を使用

③集合住宅用



壁への施工方法

壁施工について

重要なポイントはタイル剥離防止です。施工する場所、条件、さらにタイルに合った適切な施工方法の選択が重要です。タイルが大判サイズであることから、弾性接着剤と金具併用の施工と結合システムの施工方法になります。

セラミックタイルサイズ別 壁への施工方法

	構造体	下地	施工高さ	タイルサイズ ^a (mm)		
				600 × 600	600 × 1200	GARZAS1000 × 3000 以上
外壁	コンクリート	モルタル	3M 未満	部分弾性接着剤貼工法 (SG リベット SG 受け金具併用)	部分弾性接着剤貼工法 (SG リベット SG 受け金具併用)	GARZAS 施工マニュアル参照 (弾性接着剤)
				SG ビームハール (t11.5mm 以内)	SG ビームハール (t11.5mm 以内・横張り)	SG ビームハール (t6mm 以内)
				SG ビームハール (t18mm 以内)	SG ビームハール (t18mm 以内・縦、横張り)	
	鉄骨造	ALC パネル (100mm 厚以上)	3M 以上	SG ビームハール (t11.5mm 以内)	SG ビームハール (t11.5mm 以内・横張り)	SG ビームハール (t6mm 以内)
					※ SG ビームハールスライド (t11.5mm 以内・縦張り)	※ SG ビームハールスライド (t6mm 以内・横張り)
				SG ビームハール (t11.5mm 以内)	SG ビームハール (t11.5mm 以内・横張り)	
内壁	コンクリート	モルタル	3M 未満	部分弾性接着剤貼工法 (SG リベット SG 受け金具併用)	部分弾性接着剤貼工法 (SG リベット SG 受け金具併用)	GARZAS 施工マニュアル参照 (弾性接着剤)
				SG ビームハール (t11.5mm 以内)	SG ビームハール (t11.5mm 以内・横張り)	SG ビームハール (t6mm 以内)
				SG ビームハール (t18mm 以内)	SG ビームハール (t18mm 以内・縦、横張り)	
	鉄骨造 木造	合板 (I類 9.5mm 厚以上) ケイカル板 (12mm 厚以上、 比重 1.0)	3M 以上	SG ビームハール (t11.5mm 以内)	SG ビームハール (t11.5mm 以内・横張り)	SG ビームハール (t6mm 以内)
				SG ビームハール (t18mm 以内)	SG ビームハール (t18mm 以内・縦、横張り)	
				SG ビームハール (t11.5mm 以内)	SG ビームハール (t11.5mm 以内・横張り)	SG ビームハール (t6mm 以内)
				SG ビームハール (t18mm 以内)	SG ビームハール (t18mm 以内・縦、横張り)	

※SGビームハールロッキング、SGビームハールスライドは下地および建設地の条件によって変化しますので、別途各営業窓口にお問い合わせください。

タイルには軸体やモルタル下地から変形・動きや熱膨張差などの応力が発生します。

弾性接着剤はタイルや下地の動き・変形などに合わせて追従するため、その応力を吸収し、ヒビ割れや剥落などを防止することができ、タイルにも優れた接着力を発揮します。

1 全面接着剤張り工法

精度良くこしらえたモルタル下地の上に、挙動追従性の高い弾性接着剤を5mmのクリムコテで塗布した後、タイルを張付けていく工法です。

2 部分弾性接着剤張り工法

追従性の高い弾性接着剤をビード状または点状に塗布してタイルを押し付けて張る工法です。

3 SG結合システム

- ① SGビームハール工法
- ② SG新ビームハール工法
- ③ SGビームハールロッキング
- ④ SGビームハールスライド
- ⑤ GARZAS施工マニュアル

補助金具

SGリベット

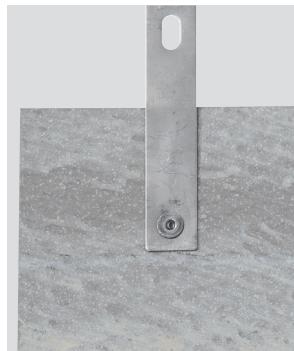
SGリベット(落下防止補助金具)は、従来のエポキシ系接着剤を使用せずにタイル裏面にステン線やステン板を取付けることができる新しい金具です。接着剤張りとの併用で、緊結金具として600角など大判セラミックタイルに使用できます。

※取付用ビスは軸体に合ったものをご使用ください。

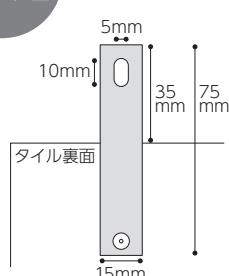
SGリベット金具 ステン線



SGリベット金具 ステン板



ステン板
取付け位置



SGリベット断面



SG受け金具

部分弾性接着剤張り工法の自重受け金具として使用できます。



SGDは600mm角以上の大判セラミックタイル用の受け金具です。
タイルの厚みに応じて出幅7、10、15mmの3種類から選択になります。

仕様

材質	ステンレスSUS304
使用量目安	600×1200mm 2個/枚
	600×600mm 2個/枚
入数	10個/ケース

※送料別途

品名	材質	D (mm)	使用量目安	
			600×600mm	600×1200mm
SGD7	ステンレスSUS304	7		
SGD10	ステンレスSUS304	10	2個/枚	2個/枚
SGD15	ステンレスSUS304	15		

※ビスは同梱していません。

壁への施工方法

部分弾性接着剤張り工法 内壁用

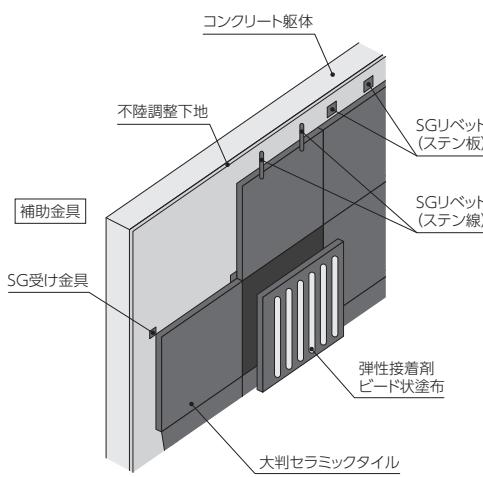
大判セラミックタイル有機系接着剤張り工法

前もって補助金具を付けたタイルの裏面へ挙動追従性の高い有機系弾性接着剤を塗布し、精度を調整したモルタル・合板またはボード下地の上に、押し付けて張付ける工法です。

下地にはタイル割りに合わせて、予めタイルSG受け金具を固定してください。

目地材はシーリング目地(变成シリコーン)もしくは内装用セメント系目地材を使用してください。

※打継ぎ目地などの伸縮目地をまたいだ施工はできません。

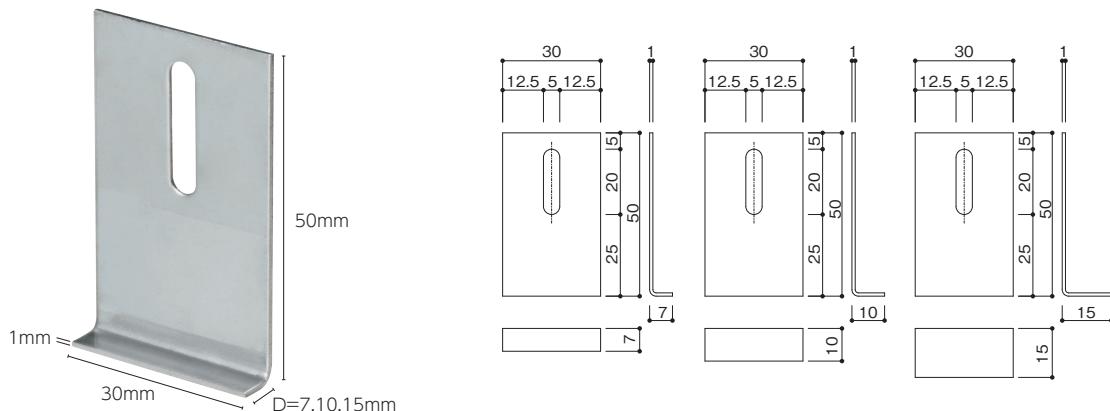


適用範囲

施工高さ	高さ3M以下
下地条件	コンクリート / モルタル ガラス繊維ネット入りセメントボード 合板 : JAS I類以上 9.5mm厚以上(20kg/m ² 超えは12mm以上) けい酸カルシウム板 : 比重1.0以上 厚さ6.0mm以上の2枚張り
タイルサイズ	600×600mm 600×1200mm
仕上がり寸法	タイル厚+5mm(ビード塗布の場合の接着剤浮かし厚は 5mm~10mm以内) ※SGリベット(ステン板)をセットする場合はP.314をご参照ください。
使用接着剤	弾性接着剤

※積上高さが1.5Mを超える場合はSG受け金具とSGリベットを設置してください。

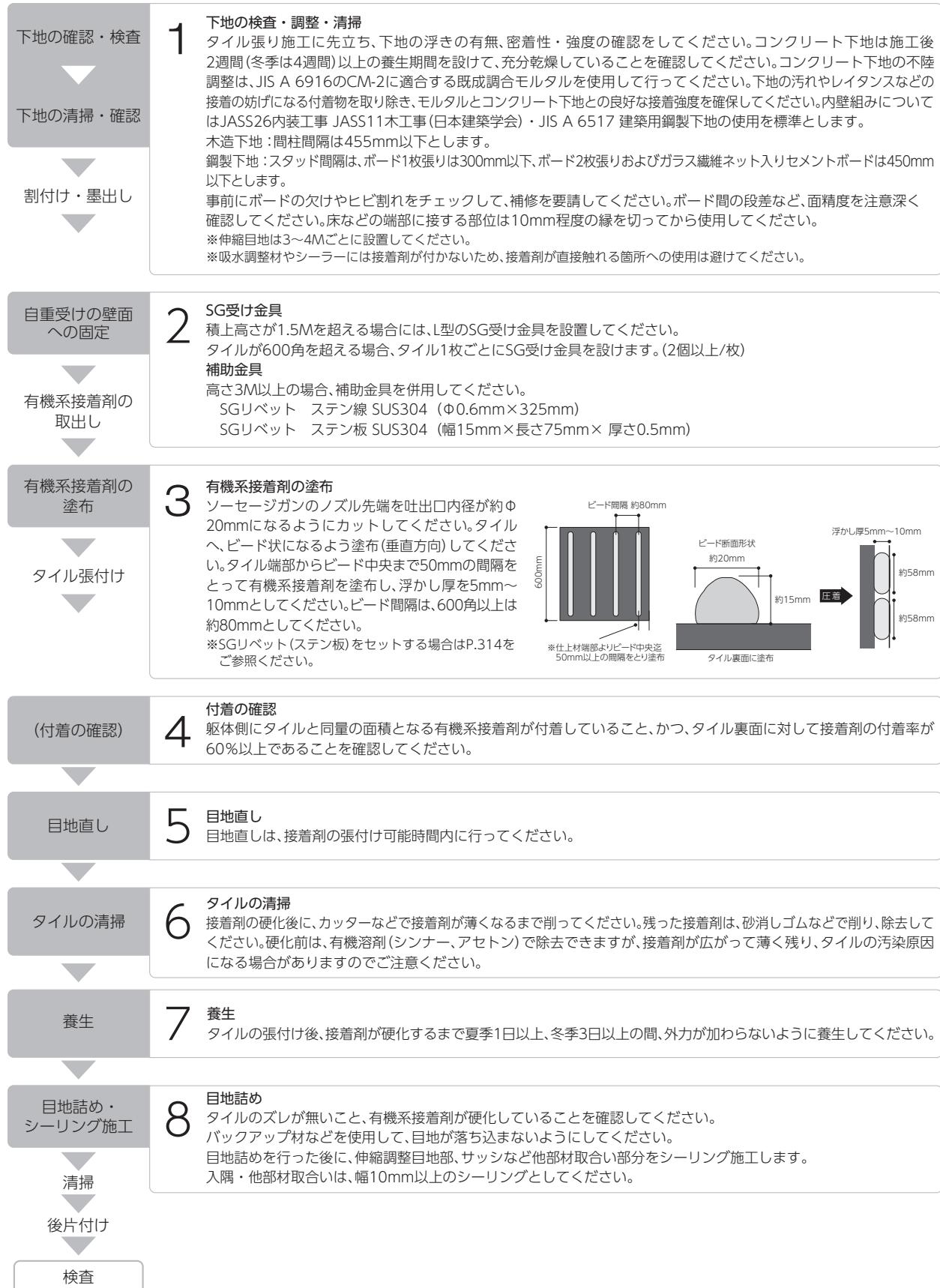
大判セラミックタイル用SG受け金具 SGD



品名	材質	D (mm)	使用量目安	
			600×600mm	600×1200mm
SGD7	ステンレス SUS304	7		
SGD10	ステンレス SUS304	10	2個/枚	2個/枚
SGD15	ステンレス SUS304	15		

※ビスは同梱していません。

大判セラミックタイル有機系接着剤張り(内壁)施工手順



壁への施工方法

部分弾性接着剤張り工法 外壁用

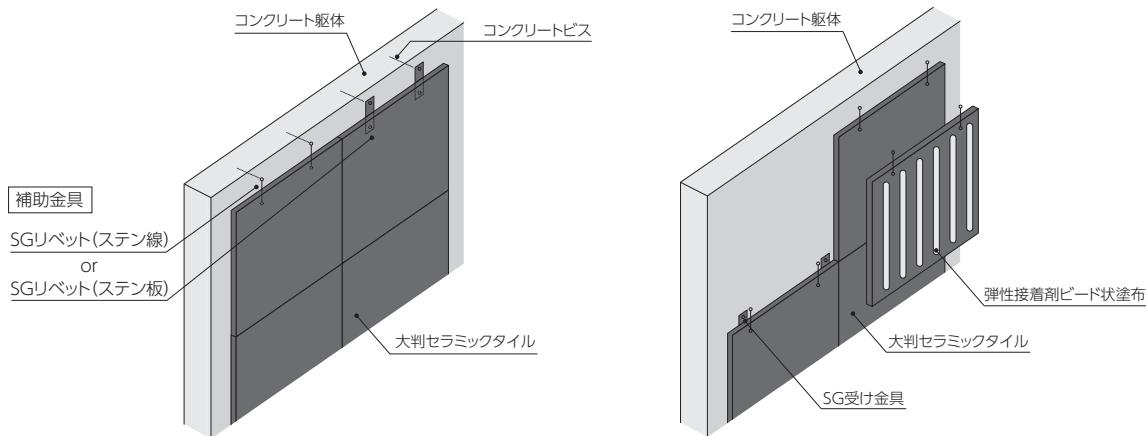
大判セラミックタイル有機系接着剤張り工法

前もって補助金具を付けたタイルの裏面へ挙動追従性の高い有機系弾性接着剤を塗布し、コンクリート下地の上に押し付け、張付けていく工法です。

下地にはタイル割りに合わせ、予めタイルSG受け金具を固定してください。

目地材はシーリング目地(变成シリコーン)もしくは外装用セメント系目地材を使用してください。

※ワーキングジョイント、打継ぎ目地など伸縮目地をまたいだ施工はできません。※詳細はお問い合わせください。



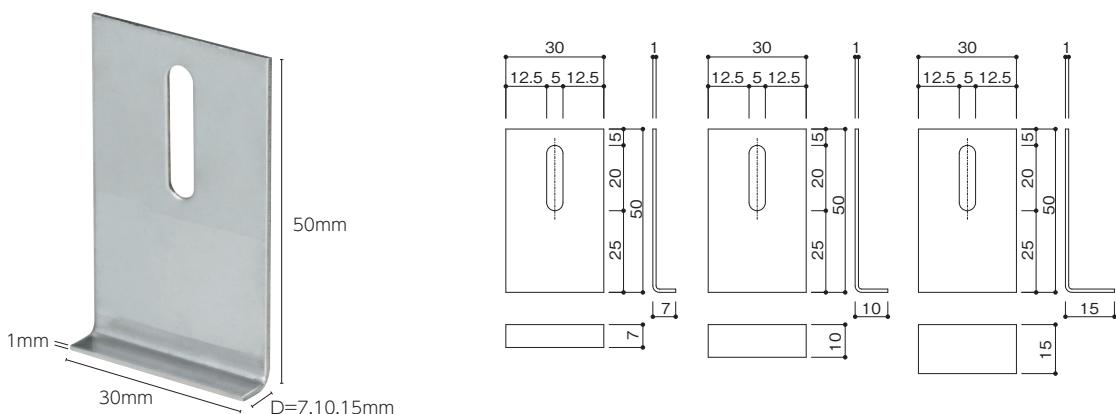
適用範囲

施工高さ	3M以下	
下地条件	RC造	コンクリート
	S造	ALCパネル (100mm厚以上)

※積上高さが1.5Mを超える場合、SG受け金具とSGリベットを設置してください。

タイルサイズ	600×600mm 600×1200mm
仕上がり寸法	タイル厚+5mm(ビード塗布の場合の接着剤浮かし厚は5mm~10mm程度) ※SGリベット(ステン板)をセットする場合はP.314をご参照ください。
使用接着剤	弾性接着剤

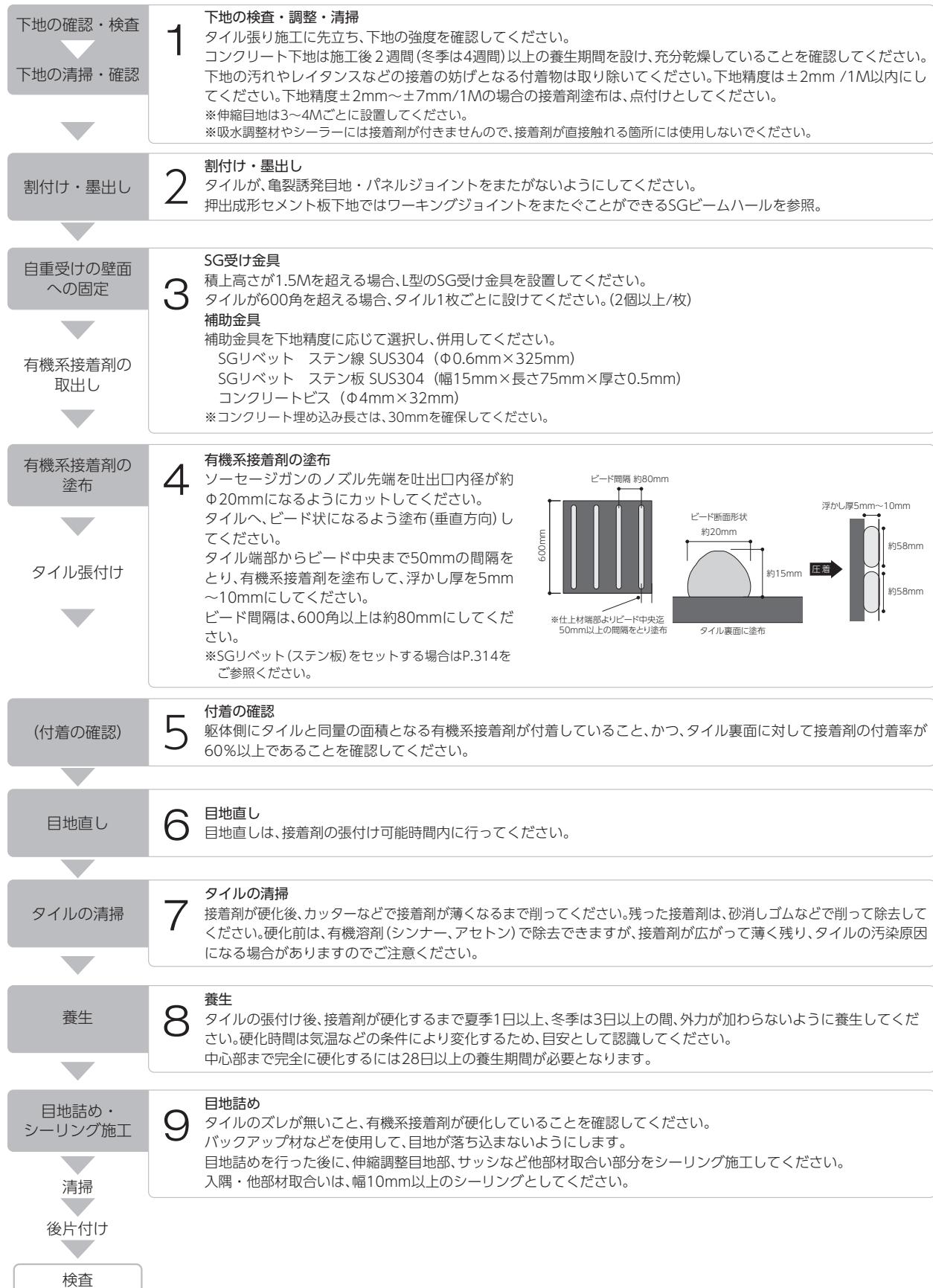
大判セラミックタイル用SG受け金具 SGD



品名	材質	D (mm)	使用量目安	
			600×600mm	600×1200mm
SGD7	ステンレス SUS304	7		
SGD10	ステンレス SUS304	10	2個/枚	2個/枚
SGD15	ステンレス SUS304	15		

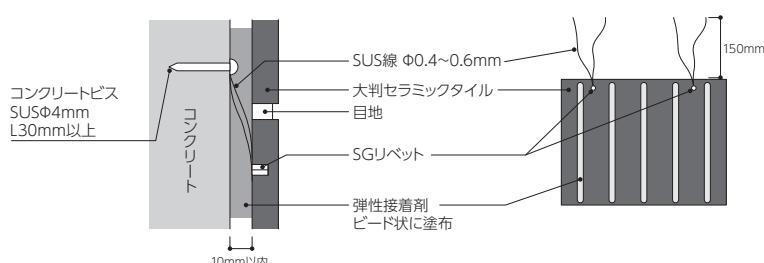
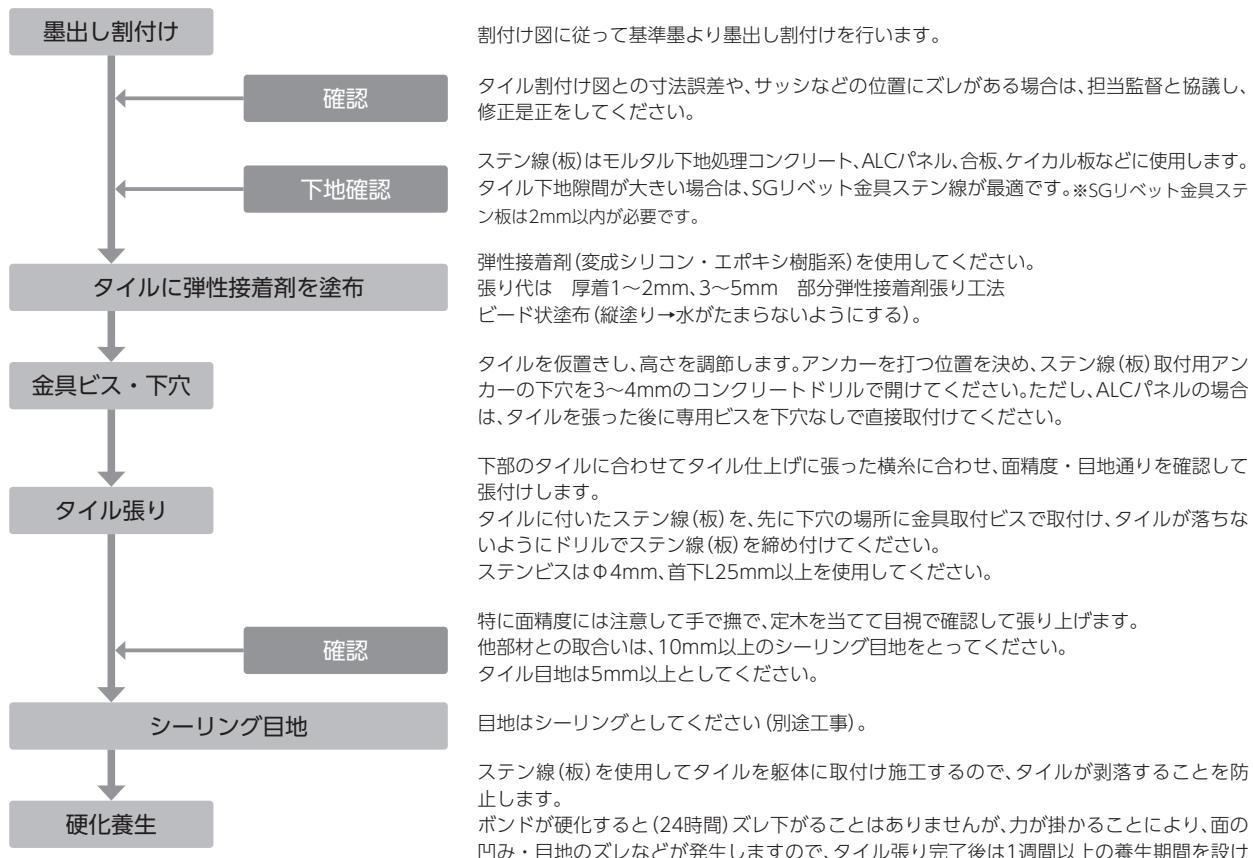
※ビスは同梱していません。

大判セラミックタイル有機系接着剤張り(外壁)施工手順



壁への施工方法

SGリベット金具(ステン線／ステン板)と軸体との取付け



SGリベット加工



SG結合システム

SG結合システムの工法は基盤に孔あき金属ステンレス製、高耐食メッキ鋼板製(KOBEMAG)を使用し、石材・タイルなどの仕上げ材を取付ける工法です。その基盤に接着剤をメカニカルに絡ませ、石材・タイルと接着剤と孔あき金属が一体となることで、長期にわたり安定した強度を保持することができます。建物の変形および下地面の挙動に対しては、基盤材をルーズホールで固定することにより、高い免震性能を実現しました。石材・タイル・金属基盤と下地材(躯体)の動きを独立させることで、地震時および強風時の揺れを軽減することができる、安全・安心な画期的工法です。

特長

- ① 石材・タイル・レンガなどの裏面がフラットなものにも、仕上げ材を自由に選択することができます。
従来制約のあったALCパネル、押出成形セメント板にも対応可能です。
- ② 既存の外壁を撤去することなく施工可能なため、廃材の量も抑えられ、リニューアルに最適です。
- ③ ステンレスおよびスーパーダイヤのパンチングを使用し、高い耐久性を実現しました。
また、外装材と下地材(躯体)の隙間を水みちとすることで、白華現象、凍害を防止できます。
- ④ 通気層を確保しながら、荷重の大きなタイルや石材などの仕上げを、自由に安全確実に行うことができる、外断熱にも最適な工法です。

工法

- SG新ビームホール工法 ■ SGビームホール工法 ■ SGビームホールスライド ■ SGビームホールロッキング
 ・セラミックタイル(600角以上) ・セラミックタイル(600角以上) ・セラミックタイル(600角以上) ・セラミックタイル(600角以上)
 ・大判セラミックタイル(GARZAS) ・大判セラミックタイル(GARZAS) ・大判セラミックタイル(GARZAS) ・大判セラミックタイル(GARZAS)

副資材

SG結合システム基盤取付専用ビス(標準基盤取付専用ビス)

品名	材質	サイズ(mm)	ねじ込み深さ(mm)	引抜強度(N)	せん断強度(N)	販売単位(袋)	単価(袋)
木造専用ビス	SUS	4.2×75	40	3822	3724	100本	¥7,800
鉄骨C形鋼専用ビス	SUS	5×30	2.3	3694	3694	100本	¥5,100
ALC(75mm以上)ビス	SUS	6×50	50	1300	1600	100本	¥9,800
RC用プラグ	SUS	6×45	30	2508	5096	50本	¥5,100
LGS用ビス	ユニクロ	5×30	0.8	1240	1240	100本	¥5,100

1. 基盤のビス穴はルーズ穴になっていますので、ワッシャーを使用しています。
2. ビス穴からの漏水防止および電触防止のためにシーリングパッキングを使用しています。
3. 構造体(下地材)および仕上げ石材・タイルの単位重量により、ビスのサイズ変更になります。標準外基盤取付専用ビスをご使用ください。
4. 有効ねじ込み深さは仕上げ部(既存仕上げ、サイディング厚など)を除いた深さです。
5. 構造体(下地材)の劣化、強度不足などの欠陥の確認・是正処置をしてください。
6. 必要に応じて、引抜試験などの措置をとってください。

※送料別途。ケース単位での販売になります。

ALCパネル用絶縁シート

1ロール : 1M×50M (45m²分) ￥14,300/ロール ※送料別途

ALCパネル・押出成形セメント板に取付けする場合、免震性能の確保のため、絶縁シートの設置を標準仕様としています。

仕様

規 格 : JIS A6111 外壁用透湿防水シートB適合品
 サイズ : 0.17mm厚さ 1M×50M
 材 質 : ポリエチレンフィルム(表) + ポリエステル不織布(裏)

推奨接着剤 オートンビーム1500ソフト

品名	仕様	容量(本)	使用数量目安(1m ² 当たり)	販売単位(箱)	単価
オートンビーム1500ソフト	ホワイト	600ml	1.5~2本	10本	￥24,500/箱
専用ガン	—	—	—	1丁	￥30,700/丁

特長

- ① 環境に配慮した接着剤です。ホルムアルデヒド、トルエン、キシレンなどの厚生労働省ガイドライン13物質や可塑剤類を含みません。
- ② 接着部材間の変形を吸収する弹性タイプです。タイル、石材類に対し強力な接着性を発揮します。
また、弹性タイプのため、変形する下地にも適応します。
- ③ 接着性・耐水性・耐熱性に優れています。長期にわたり初期の接着性と弹性を維持します。
- ④ 暴露目地に対応しています。高耐候性に優れ、初期の意匠性、弹性を長期にわたり維持します。
また可塑剤類無配合なので、目地汚染がありません。

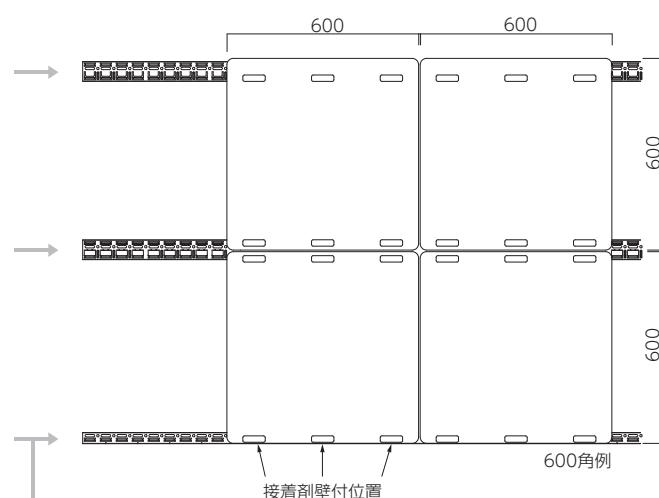
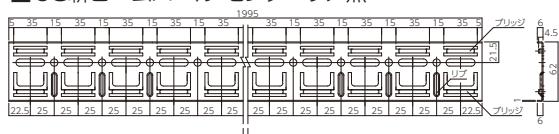
※送料別途。ケース単位での販売になります。

壁への施工方法

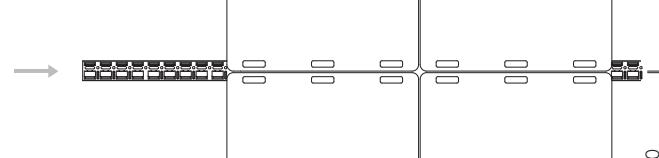
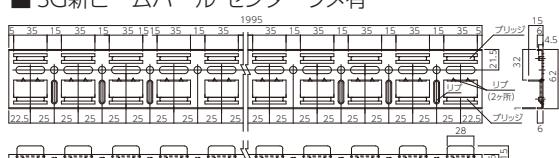
SG結合システム

SG新ビームハーレ

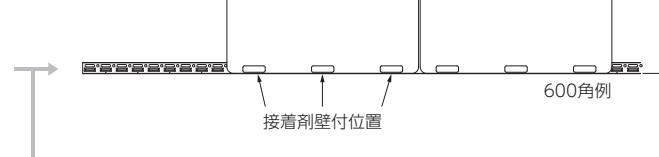
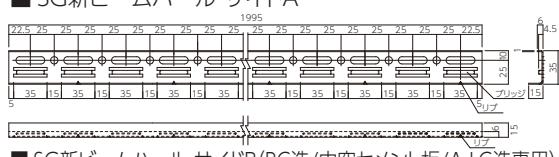
■ SG新ビームハーネル センターツメ無



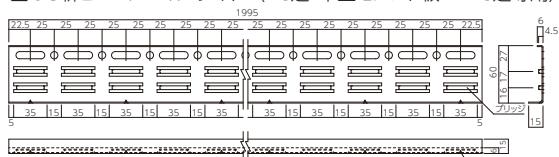
■ SG新ビームホール・カセットも有



■ SG新ビー／ハール サイドA



■ SG新ビルハール サイドB(RC造/中空セメント板/A LC造専用)



施工手順



墨出し後に構造体に合わせて専用ビス・アンカーを選択し、軀体に基盤を確実に取付けます。1基盤当たり5~8本を目安にビス・アンカーを使用してください。

タイル1枚につき4~8点程度接着剤が基盤に確実に絡むように塗布し、タイルをもみ込むように張付けてください。

接着剤は必ず弾性接着剤を使用してください。
専用品:オートンビーム1500ソフト
(専用ガンあり)

目地込みはシーリング、目地材などで行ってください。

■ SG新ビームハーネス基盤

名称	ステンレス製 (SUS430)	KOBEMAG製	必要数		入数 (ケース)
			600×600mm	1200×600mm	
SG新ビームハール センターツメ無	¥6,200/本	¥4,500/本	約0.84本	約0.84本	20本
SG新ビームハール センターツメ有	¥6,200/本	¥4,500/本			
SG新ビームハール サイドA	¥5,700/本	¥4,300/本			
SG新ビームハール サイドB	¥6,300/本	¥4,800/本			

※ビス・アンカーはP.315「SG統合システム基盤取付専用ビス」をご参照ください

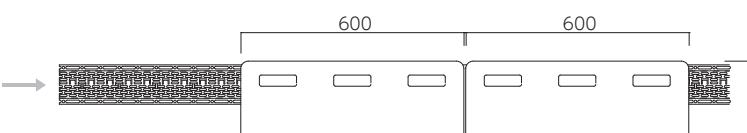
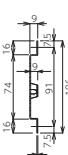
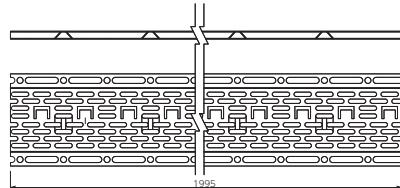
※接着剤・専用ガンはP.315「推奨接着剤 オートンビーム1500ソフト」をご参照ください。

※高耐食メッキ鋼板は、「スーパーダイマ製⇒KOBEMAG製」に変更になりました。

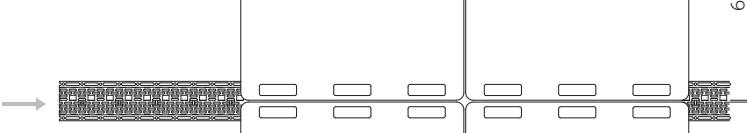
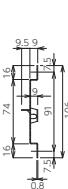
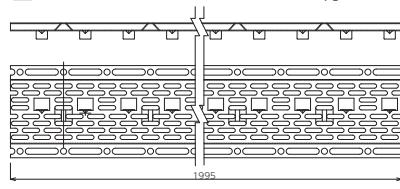
※送料別途。ケース単位の販売になります。

SGビームハーネス

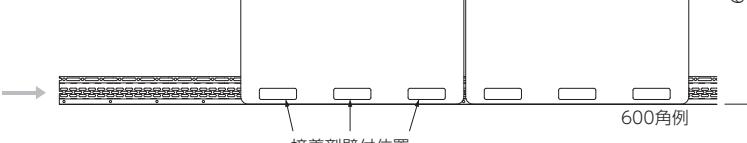
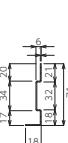
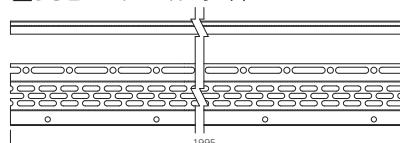
■ SGビームホール センターツメ無



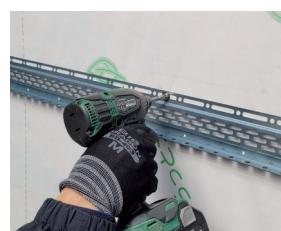
■SGビームホール センターツメ有



■SGビームハーレ サイド



施工手順



墨出し後に構造体に合わせて専用ビス・アンカーを選択し、軸体に基盤を確実に取付けます。1基盤当たり10~16本を目安にビス・アンカーを使用してください。



タイル1枚につき4~8点程度接着剤が基盤に確実に絡むように塗布し、タイルをもみ込むように張付けてください。



接着剤は必ず弾性接着剤を使用してください。
専用品:オートンビーム1500ソフト
(専用ゴム入り)



目地込みはシーリング、目地材などで行ってください。

■ SGビームハーネス基盤

名称	ステンレス製 (SUS430)	KOBEMAG製	m ² 必要数		入数 (ケース)
			600×600mm	1200×600mm	
SGビームハール センターツメ無	¥6,800/本	¥5,200/本	約0.84本	約0.84本	10本
SGビームハール センターツメ有	¥6,800/本	¥5,200/本			
SGビームハール サイド	¥6,600/本	¥5,000/本			

- ※ビス・アンカーはP.315「SG統合システム基盤取付専用ビス」をご参照ください。
- ※接着剤・専用ガンはP.315「推奨接着剤 オートンビーム1500ソフト」をご参照ください。
- ※高耐食メッキ鋼板は、「スープーダイヤ製⇒KOBEMAG製」に変更になりました。
- ※送料別途、ケーズ単位の販売になります。

共通注意事項

商品について

- 輸入品につき在庫、納期をご選定前にご確認ください。生産の都合上、予告なしにサイズや厚みなど仕様変更や生産中止になる場合があります。
- カタログの表記寸法は標準寸法になります。生産ロットにより寸法誤差がありますので、タイルを割付ける際にご注意ください。
- 輸入品のため生産ロットによって、色合い・実寸法が異なる場合があります。
- 製品はISOやJISの基準に基づいて製造していますが、製造上、規格の範囲内での反りやねじれなどがあります。
- 柄の流れ模様はランダムです。仮並べを行ってからの施工をおすすめします。
- 色や柄の指定はできませんので予めご了承ください。

磨きタイル

- 水濡れする床面では、滑りやすくなりますのでご注意ください。
- 人通りが多いエントランスや共用通路などの場合、表面がキズ付きやすいためご使用は避けてください。
- 商品の特性上、艶のある磨き仕上げは、表面に搖らぎがある場合がありますが、商品不良ではありませんので予めご了承ください。
- 施工後、養生する際は必ず接着剤や目地材が乾燥してから行ってください。
- マスキングテープ、粘着力の強い養生テープなど長時間放置しておくと磨きタイルの表面の保護材を剥離させますのでご使用は避けてください。
- 釉薬面の保護のため表面に保護用のワックスがついています。目地詰め後に、表面のワックスを水拭きで良く拭き取ってください。
- 樹脂状の緩衝材がタイル表面と裏面についている商品は、施工時に取り除いてください。
- 納品時キズ防止のため緩衝材がタイル表面へ付着しております。付着が強固な場合スチームなどで緩衝材を温めると除去しやすくなります。
- 施工後、磨き・光沢タイルの表面に静電気で埃が付着する場合があります。使用していくうちに放電され付着しにくくなりますが、症状がひどい場合、メンテナンス業者にご相談ください。

マットタイル

- 水濡れする床面の場合は、表面が滑りやすくなりますのでご注意ください。色が白や黒の場合、泥汚れやヒールマークなど汚れが目立ちやすくなります。ご選定の際は、ご注意ください。

グリップタイル

- 滑りにくいように表面を、凹凸に仕上げたり、ザラザラした表面加工して滑りにくくさせています。そのため、滑りにくい反面、汚れが付着しやすいためご注意ください。
- グリップ仕上げは、商品ごとに滑りにくさのグリップ力が異なります。
- JIS規格に準じた滑り試験をしていますがご選定の際は、カットサンプルやショールームでお確かめください。
- グリップ性能は歩行状況や経年変化により低下する可能性があります。定期的な点検と清掃を行ってください。
- 濡れた状態や傾斜がある場合、滑りやすくなりますのでご注意ください。

大判セラミックタイル (GARZAS)

- ご使用の際は、必ず事前に本製品がお客様の使用する目的、用途、条件など、詳細を工事店さまとお打合せのうえ、現場に適した施工方法をお選びください。
- 下地の精度の影響を受けやすいので、下地が悪い場合、必ず下地の補修をしてください。
- 3メートルを超える高さへ施工する場合は、弊社営業窓口までお問い合わせください。
- 突き付けで施工はできません。目地幅を3mm以上確保してください。
- 施工方法は現場の状況に応じて、適正な施工方法をお選びください。
- 天井部、斜め壁の施工はできません。
- 大判セラミックタイルで厚さが薄いため、タイルを接着したらゴムハンマーで強く叩かず振動工具を使用し良く密着するように施工してください。
- 外壁の目地はシリング材をご使用ください。
- 搬入経路、運搬方法を事前に打ち合わせしてください。

木目・長方形タイル

- 馬踏み目地で施工する際に、タイルに反りがありますので、1/4程度ずらして施工してください。

モザイク・シート

- 生産上、手作業で切削やシートに接着しているため、小さなヒビや角欠けなど入る場合がありますが商品不良ではありませんので予めご了承ください。
- 枚・シート単位で販売になります。梱包費用が別途必要になりますので予めご了承ください。
- メンテナンスの際に酸性やアルカリ性などの洗剤は避けてください。床面のご使用はできません。

施工上の注意

- ご使用の際は、必ず事前に本製品がお客様の使用する目的、用途、条件など詳細を工事店さまとお打合せのうえ、現場に適した施工方法をお選びください。
- 段差や不陸が大きいと接着面積が低下する恐れがあるため、施工前に不陸調整をしてから施工してください。
- 施工の際、タイルの裏面に空隙が無いよう、良く接着剤が密着するよう張付けてください。
- 空隙があると、割れる可能性があります。
- 突き付けでの施工は、欠けや割れの原因になりますのでやめてください。
- 施工後、接着剤が硬化してから目地詰めを行ってください。
- 目地はしっかりと押し付けるように入れてください。隙間があると目地落ちの原因になります。
- 目地詰め後、拭き残しが無いよう素早く拭き取りを行ってください。目地残りがシミになる恐れがあります。

床タイル施工注意事項

施工前

◇タイルの選定

使用する場所や用途に合わせて、適切な材質、サイズ、滑り止め性能などを考慮して選びます。

特に水まわりや屋外で使用する場合は、耐水性や耐候性に優れたタイルを選ぶ必要があります。

◇下地処理

タイルの接着を確実にするため、下地は平滑で乾燥している必要があります。

下地にヒビ割れや凹凸がある場合は、補修や調整が必要です。
古い床材が残っている場合は、剥がして清掃してください。

◇タイルと接着剤の準備

必要な量のタイルと接着剤を準備します。

接着剤は、タイルの材質や下地の種類に合わせて選びます。

◇保管方法

床タイルは、梱包を解かずに平坦な場所に保管してください。

積み過ぎ、長時間にわたる直射日光や高温状態、雨水などによる水濡れは、変形・変色・変質の原因となりますのでご注意ください。

施工中

◇接着剤の塗布

接着剤は、均一に塗布してください。

塗布量が多すぎると、タイルが沈み込んだり、目地から接着剤がはみ出したりする可能性がありますのでご注意ください。

◇タイルの張付け

大きなタイルを張る場合は、タイル全体をハンマーなどで軽くたたき、空洞が入らないように良く圧着させてください。

◇目地詰め

タイルが完全に接着した後、目地材を詰めてください。

目地材は、タイルの種類や色に合わせて選びます。

湿式工法の場合、タイルの大きさによらず、下地にヒビ割れが発生すると、それに追随してタイル面にもヒビ割れが発生します。これを防止するために、伸縮目地を必ず適宜場所に設置してください。

施工後

◇養生

施工後、接着剤や目地材が完全に硬化するまで、一定期間養生します。

養生期間中は、タイルに荷重をかけたり、水に濡らしたりしないように注意してください。

◇清掃

養生期間後、タイル表面や目地についての汚れを拭き取ります。

◇メンテナンス

定期的に清掃を行い、汚れやカビの発生を防いでください。

水まわりでは、特にカビが発生しやすいので、換気を心がけてください。

◇使用上の注意

水濡れや砂が飛散した状態では滑りやすくなり、転倒事故を招く可能性がありますのでご注意ください。

重量物や車輪のしきぎによって、タイルの表面をキズつけたり剥れを発生させる可能性があります。引きずったり、こすらないようにご注意ください。

タイルは熱によって変色・溶融する可能性があります。温風ヒーター吹き出し口にはマットを設置するなどして、温風が直接タイルの表面に当たることを避けてください。

上記の注意事項を守ることで、床タイルを美しく長持ちさせることができます。

壁タイル施工注意事項

施工前

◇タイルの選定

壁に使用するタイルは、材質、サイズ、デザインだけでなく、重量も考慮する必要があります。重すぎるタイルは、壁に負担をかけ、剥がれの原因になることがあります。

浴室やキッチンなど、水まわりで使用する場合は、防水性、防カビ性に優れたタイルをお選びください。

◇下地処理

壁タイルを施工する下地は、平滑で強度があり、乾燥している必要があります。

下地にヒビ割れや剥がれがある場合は、補修が必要です。

特に、古い壁紙や塗装が残っている場合は、完全に剥がして清掃してください。

下地の材質にあつた下地処理をすることが重要です。石膏ボード、コンクリート、合板などそれぞれにあつた下地処理をしてください。

◇施工計画

タイルの割付けを事前に計画し、見切りやコーナーの処理方法を検討してください。

必要に応じて、仮並べを行い、タイルの配置を確認します。

施工中

◇接着剤の塗布

接着剤は、タイル裏面と下地の両方に塗布し、十分な接着力を確保します。

塗布量が多すぎると、タイルが沈み込んだり、目地から接着剤がはみ出したりする可能性があります。

壁にタイルを張る場合は、接着剤が垂れてくる場合がありますので、ご注意ください。

◇タイルの張付け

タイルは、水平、垂直に注意しながら、丁寧に張付けます。

タイルの裏に表示されている矢印を確認し、向きを揃えて張付けます。大きなタイルや重いタイルを張る場合は、必要に応じて、補助具を使用します。

タイルを張付ける際は、均一な目地幅を確保することが重要です。

タイルスペーサーを使用して、均等な目地幅を確保してください。

◇目地詰め

タイルが完全に接着した後、目地材を詰めます。

目地材は、タイルの種類や色に合わせて選びます。

目地詰めをする際は、目地材が乾燥する前に、濡れたスポンジなどでタイル表面をきれいに良く拭き取ります。

◇コーティング

壁と壁、壁と床などの取り合いにはコーティングを施工することをおすすめします。コーティングを施工することで、防水性を高めることができます。

施工後

◇養生

施工後、接着剤や目地材が完全に硬化するまで、一定期間養生します。

養生期間中は、タイルに荷重をかけたり、水に濡らしたりしないように注意してください。

◇清掃

養生期間後、タイル表面や目地についての汚れを良く拭き取ってください。

◇メンテナンス

定期的に清掃を行い、汚れやカビの発生を防ぎます。

特に水まわりでは、カビが発生しやすいので、換気を心がけます。

その他

◇安全確保

高い場所にタイルを施工する場合は、足場をしっかりと固定し、安全に作業できる体制を整えてください。

タイルや工具の落下に注意し、安全靴やヘルメットを着用してください。

これらの注意事項を守ることで、壁タイルを美しく安全に仕上げることができます。

モザイクタイル施工注意事項

モザイクタイルの施工は、その小さなサイズと多様なデザイン性から、特有の注意点を考慮する必要があります。

施工前

◇製品確認

施工前に必ず製品を確認し、不具合が無いか、色調や寸法にバラつきが無いかなどを確認します。

タイルは焼き物であるため、ロットや形状によって色調や寸法が異なる場合があります。

◇下地処理

モザイクタイルは下地のわずかな凹凸も仕上がりに影響するため、下地は平滑かつ強固に仕上げる必要があります。

下地の材質に合った適切な下地処理を行います。

下地が軽体(RC、ブロック造)以外のボード、ALCなどの場合はその上にタイルを張れる下地であることを必ず確認してください。

◇接着剤の選定

モザイクタイルの素材や下地の材質に合った接着剤を選びます。

接着面積を確保するために、裏あしの内側まで接着剤が十分に入り込む施工方法を事前に確認してください。

施工中

◇接着剤の塗布

接着剤は均一に塗布し、十分な接着力を確保してください。

弾性接着剤の点付けによる施工は避けてください。

◇タイルの張付け

接着剤張工法を指定しているタイルは、モルタルで施工せず、必ず接着剤で施工してください。

◇目地詰め

目地材はタイルの素材やデザインに合わせてお選びください。

タイル厚の半分以上目地材を詰めてください。

有機系弾性接着剤張工法で目地材を施工した場合、下地への吸水がなくなるため、目地材が白華しやすい傾向がありますので、ご注意ください。

施工後

◇清掃

目地材が硬化する前に、タイル表面の余分な目地材を丁寧に拭き取ります。

モザイクタイル表面に付着した過剰なモルタル / 接着剤は、完全に乾く前に濡らした布やスポンジなどできれいに良く拭き取ってください。

◇養生

接着剤や目地材が完全に硬化するまで、適切な養生期間を設けてください。